

<主は私の羊飼い>

詩篇 23 篇



【詩篇 23 篇】

主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。
主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。
主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。
たとえ、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざいを恐れませんが。
あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。
私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。
私の杯は、あふれています。
まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。
私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。

- ◆羊飼いの仕事は、社会的に階級が最も低い人に与えられていた。だから神さまを「羊飼い」として呼ぶことは当時の人にとって珍しいこと。

ダビデが、神さまを羊飼いとして例えたのは何故だったのか？

【羊の特徴】

臆病で脆弱 / 目が弱く、病気になりがち / 方向感覚がとても鈍い
すぐ迷う / 頑固 / etc

群から離れて危険なところに行って自滅するという習性をもっている。
だから羊飼いが必要！

1、羊飼いを知る羊の幸い

世界には様々神観がある。聖書では？

イエスさまのたとえ話

100匹の羊のうち一匹を見失ったら、99匹を置いてその一匹が見つかるまで身の危険を冒しても捜し出すと教えた。「私」の存在を忘れない神。

自分が乏しい時こそ羊飼いの存在を知っている人は、幸せ。

乏しい＝不足している

体力面、精神面で弱さを感じたり、能力的な乏しさを感じ落ち込んだり…

私は、どんな境遇にあっても満足することを学びました。私は、貧しくあることも知っており富むことも知っています。満ち足りることに飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私を強くくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。　ピリピ 4：11-13

2、羊飼いの声を聴き分ける

人が耳にする4種類の声

①人の声　②自分の声　③サタンの声　④神の声

どの声に耳を傾けているのかで、結果も変わる。

良き羊飼いの言葉は、聖書に詰まっている。それは肯定的なメッセージ。

わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。　イザヤ 43：4
恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。

わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。　イザヤ 41：10

3、羊飼いは目的地へ導く

羊飼いは、目的地に向かうまでの危険な道のりもすべて熟知して羊を導く。

わたしは良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。ヨハネ 10：11